



天塩町長 吉田 忠

令和6年の新年を町民の皆様とともに迎えることができたことに慶びと感謝を込めてご挨拶を申し上げます。

私は、これまで長きにわたり培った町職員としての経験や町民の皆様との対話の中で、対話を重視した合意形成と町における政策立案の重要性を鑑み、「対話・協働・調和でマチを一つに」をスローガンに活力あるマチづくりに邁進しております。子どもからお年寄りまで笑顔あふれるマチへ、世代や業種を超えて相手を思いやりながら暮らせる、やさしいマチを目指し、町民の皆様、議員の皆様との信頼関係のもと、同じ方向を向きながら全力で取り組んでおります。

昨年は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、人の流れも徐々に戻りつつあると感じています。7月には、4

年ぶりとなる町の一大イベントが、「天塩川しじみまつり」として初めて天塩川河川公園で開催され、皆様のにぎわいと多くの笑顔に感銘を受けました。就任後すぐに、学校給食費の無償化や産業廃棄物処分場の再開、その後ゼロカーボンシティ宣言、まちづくり懇談会の開催など、まちは一步一步、是々非々で、皆様の知恵をお借りしながら奔走した年でございました。年末には、内閣府主催による「地方創生☆政策アイデアコンテスト2023」の高校生・中学生の部に、天塩高校

2年生4名が筑波大学との高大連携ワークショップを通じて考案した町づくりアイデアが北海道代表として選抜され最終審査会に進出。全国から集まった9組によるプレゼンテーションが行なわれ、「タロ+α?」と題した、天塩町の夕日をメインとした政策提案は、惜しくも上位3組に届きませんでした。高校生の堂々とした姿勢と活躍に勇気をもらったのは私だけではないと思います。

公約・政策に関しましては、基幹産業である農林水産業では、関係機関との連携を強化し、未来へとつなげる担い手の確保・育成に向けた国への支援策を要望し続けるとともに、天塩の特産品であるシジミ資源の回復と漁業資源の活用を推進してまいります。商工業分野におきましては、特産品やふるさと納税返礼品の開発促進による地場産業振興、地域の雇用や域内経済の好循環を見据えた産業振興を推進してまいります。福祉・医療分野におきましては、いつまでも住み慣れた町で安心して生活できるよう、医療・介護の充

実はもちろん、公共交通体系の見直しを含めた温泉券・ハイヤー券を改良した新たな町民サービスを検討しております。また、町唯一の医療機関であります町立病院におきましては、平成30年以降、常勤医1名体制で運営しておりますが、現診療体制を維持していくとともに、常勤医師の複数配置と医療スタッフの安定確保に最大限努めてまいります。子育て分野におきましては、スポーツセンター前

広場に遊具等を整備は始まっていますが、子ども遊び場と子育て世代の交流の場を提供してまいります。また、公共施設等の老朽化も進行していることから、人口規模に応じた公共施設等のあり方も、皆様の声を聴きながら検討をすすめてまいります。まずは、雄信内生活改善センターと雄信内老人憩いの家を対象とした施設再編を検討し、避難機能を備えた複合型施設整備の計画を進めているところです。

ト案が示されました。今春にも再度、住民アンケートが行われますのでしっかりと周知・PR、一刻も早い着手に向けた要望活動に取り組んでまいります。また、天塩港湾建設や天塩川治水対策、天塩防災、農地防災、自衛隊訓練施設・訓練誘致、雄信内駐在所の建替えなど、各種期成会や管内・近隣市町村との連携を更に強化し、国や北海道へ働きかけを行ってまいります。

これら施策を通じて、先人の方々が築いた「ふるさと天塩」の将来を見据え、町民の皆様はもとより、関係する皆様と協働した調和のまちづくりを進める所存です。本年におきましても、町民の皆様におかれましては、ご健勝をお祈り申し上げますとともに、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

昨年、北海道縦貫自動車道(天塩・中川間)の計画段階評価が本格的に始まり、11月には対策ル―



北海道知事  
鈴木 直道

新年明けましておめでとうございます。新春を迎えるに当たり、謹んでご挨拶を申し上げます。北海道を前へとの想いを胸に、本年も、道政に全力を尽くしてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

道民の皆様暮らしや事業者の方々の経営環境が厳しい状況におかれた1年となり、道では、価格高騰等経済対策を講じるとともに、道産水産物の消費拡大に向けたキャンペーンを展開するなど、総力を挙げて取り組んでまいりました。

昨年を振り返りますと、3年を超える長期にわたり、私たちの生活に大きな影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症が、5月には5類への移行という大きな節目を迎えました。これまでの対策

へのご理解とご協力に対し、医療従事者の皆様をはじめ、道民や事業者の皆様にご心より感謝申し上げます。

5類移行に伴い、社会経済活動が活発化する一方で、不安定な国際情勢などを背景とした物価高騰の影響の長期化や、中国による日本産水産物の全面輸入停止など、

厳しい状況が続く中であつても、昨年は、本道が国内外から大きな注目を集め、更なる飛躍に向けて大きく歩みを進めた1年でもありました。

ラピダス社の立地が決定し、次世代半導体を北海道から世界に届けるという前例のないプロジェクトがスタートしたほか、日本最大級のデータセンターの建設が発表されました。また、「G7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合」の開催や本道へのGX投資の促進に向けた官民連携のコンソーシアムの

設立など、DXやゼロカーボン北海道の実現に向けた動きも加速しました。さらには、アジアで初めての開催となった「アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本」では、雄大な自然や多様なアクティビティ、多彩な食、独自の歴史や文化といった本道の魅力を国内外に広く発信することができました。

また、36年ぶりの本道での開催となった「全国高等学校総合体育大会」では、大きな声援をうけて躍動する若き力が、本道の確かな未来を感じさせてくれました。

「全国豊かな海づくり大会」は、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、海の恵みを守り、日本の豊かな食を支える道産水産物の魅力を発信する機会となりました。新しい年は、こうした歩みをさらに加速し、安心して住み続ける地域づくりや北海道の魅力の世界に広げる取組を進めてまいります。

このため、社会経済情勢に機動的に対応しながら、足腰の強い地域経済の確立や地域産業を担う人材の安定的な確保などに取り組むとともに、子ども応援社会の実現に向けた取組を着実に進めるほ

か、ほっかいどう応援団会議を活用した地域を支える応援の輪を広げます。

また、次世代半導体製造拠点の実現に向けた取組を進めるとともに、本道の再生可能エネルギーのポテンシャルなどを活用し、新たな産業や人、投資を呼び込みます。さらに、インバウンド回復の波を着実に捉え、観光立国北海道の再構築を加速するとともに、戦略的な輸出拡大により道産食品を世界に広げながら、一次産業の生産基盤の整備などを進め、日本の食料安全保障に貢献してまいります。

本道を取り巻く環境が大きく変化する今こそ、北海道のめざす姿を道民の皆様と共有し、ともに歩みを進めていくことが重要です。このため、新たな北海道総合計画を策定し、その実現に向けた政策展開と地域づくりの基本方向をお示ししながら、皆様とともに、北海道の確かな未来を創ってまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

本年が、皆様にとりまして、希望に満ちた素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

本年もよろしく  
お願いいたします

天塩町

町長

吉田 忠

副町長

野崎 浩宣  
ほか職員一同

町議会

議長

横山 敦

副議長

波辺 修勝

議員

草刈 幸男

議員

後藤 忍

議員

石山 直継

議員

菊地 敏

議員

山本 春光

議員

長山志津子

議員

桑田 孝彦  
ほか職員一同

町立病院

病院長

橋本 伸之  
ほか職員一同

教育委員会

教育長

西村 聡  
ほか職員一同

農業委員会

会長

奥山 稔  
ほか職員一同

選挙管理委員会

委員長

岸山久美子  
ほか職員一同

監査委員

委員

友廣 昭二

委員

石山 直継

固定資産評価審査委員会

委員長

岸山 清隆  
ほか職員一同